

◆平成一六年度メンタルヘルス研究協議会

主 催…独立行政法人日本学生支援機構、国立大学法人保健管理施設協議会、文部科学省、国立大学法人東京工業大学  
 開催日時…平成一六年九月一五日(水)～一六日(木)  
 会 場…虎ノ門パストラル  
 参加者数…二八六名

・本研究協議会は三年間、毎年全国七地区で「地区研究協議会」が開催されているが、今年度は四年に一度の全国研究協議会の開催年であった。  
 ・参加対象者は各国立大学法人、国立高等専門学校学校の役職員であり、「国立大学・高専の法人化と学生支援」というメインテーマで開催された。  
 ・一日目は国立情報学研究所 末松所長の基調講演に始まり、その後の分科会は大学部会(副学長、学生部長)、高専部会、学生支援専門員部会別に一四会場に分かれ、法人化後の学生支援の取組や課題についての活発な意見交換・討議が行われた。  
 ・二日目は全体会として分科会報告とシンポジウムが行われた。シンポジウムでは「法人化時代における学生支援」というテーマのもと、シンポジストとして金沢工業大学 石川学長、東北大学 菅井副総長、高松工業高等専門学校 長谷川教授を迎え、それぞれの立場から話題提供をいただいた。

・本研究協議会は参加者から大変好評であったが、日程が短



初日の基調講演



2日目のシンポジウム

く分科会の時間を増やして欲しいとの意見が多かったため、今後は検討していきたい。  
 ・次年度は七地区に分かれて開催予定である。

◆平成一六年度全国大学保健管理研究集会

主 催…日本学生支援機構、全国大学保健管理協会  
 後 援…文部科学省  
 当番大学…大阪大学  
 開催日時…平成一六年一〇月六日(水)～七日(木)  
 会 場…大阪国際交流センター

参加者数…七六三名

・本研究集会は今年度四二回日の開催となり、国公私立大学及び短期大学等における保健管理業務の担当者及び研究者を参加対象としている。

・今回の共通テーマは「健全な大学コミュニティ形成と保健管理センター―保健管理から健康支援への進化―」であった。

・一日目は特別講演、教育講演Ⅰ・Ⅱ、シンポジウムⅠ・Ⅱ、二日目は一般研究発表・ポスターディスカッション、シンポジウムⅢと二日間の日程に拘わらず充実した内容であった。特にポスターディスカッションでは、発表者と参加者が一体となり活発な質疑応答が行われた。  
 ・次年度は山形で開催予定である。

◆平成一六年度全国学生指導研究集会

主 催…文部科学省、全国学生指導研究会連合会、独立行政法人日本学生支援機構、国立大学法人一橋大学  
 開催日時…平成一六年一〇月二〇日(水)～二二日(金)  
 会 場…独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター  
 参加者数…三九四名

◆平成一六年度留学生担当者研修会

主 催…文部科学省、独立行政法人日本学生支援機構  
 実施協力…財団法人日本国際教育支援協会、国際教育交流協議会  
 開催日時…平成一六年一〇月二七日(水)～二九日(金)  
 会 場…独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター  
 参加者数…二二五名



◆平成一六年度厚生補導事務研修会

主 催…独立行政法人日本学生支援機構  
 後 援…文部科学省  
 開催日時…平成一六年一月八日(月)～一〇日(水)  
 会 場…独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター  
 参加者数…二二二名